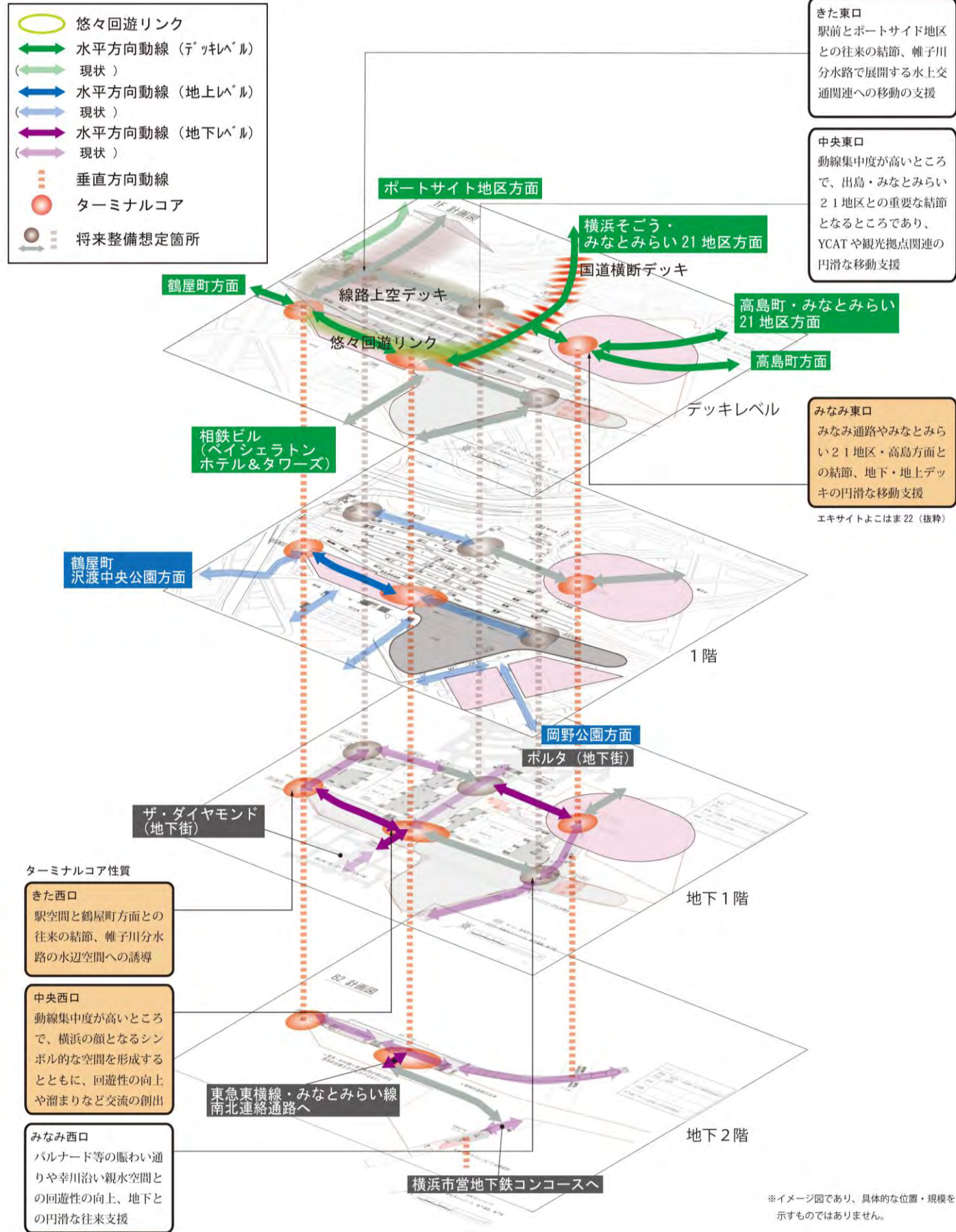


中期的な取り組み

■横浜駅周辺の歩行者ネットワークイメージ



インフラ基本計画 (概要版)

インフラ基本計画は、横浜駅周辺を取り巻く状況と背景を踏まえ、「エキサイトよこはま22 基盤整備の基本方針」に基づき、概ね20年後までに取り組む基盤整備の具体的な計画および事業について、基盤整備検討会においてとりまとめるとともに、東日本大震災の発生や特定都市再生緊急整備地域の指定などから、災害安全性の向上や国際交流都市の実現に向けた優先的な取り組みの方向性を定め、民間開発にあわせた中期的な取り組み（概ね4～5年以内に具体的な検討を着手するもの）を示したものです。

平成26年3月
 エキサイトよこはま22 基盤整備検討会

中期的な取り組み

■中期的に取り組む施策の方向性

災害に強いまち

災害リスクを最小限に抑えるための治水対策の推進、防災機能の強化を図る

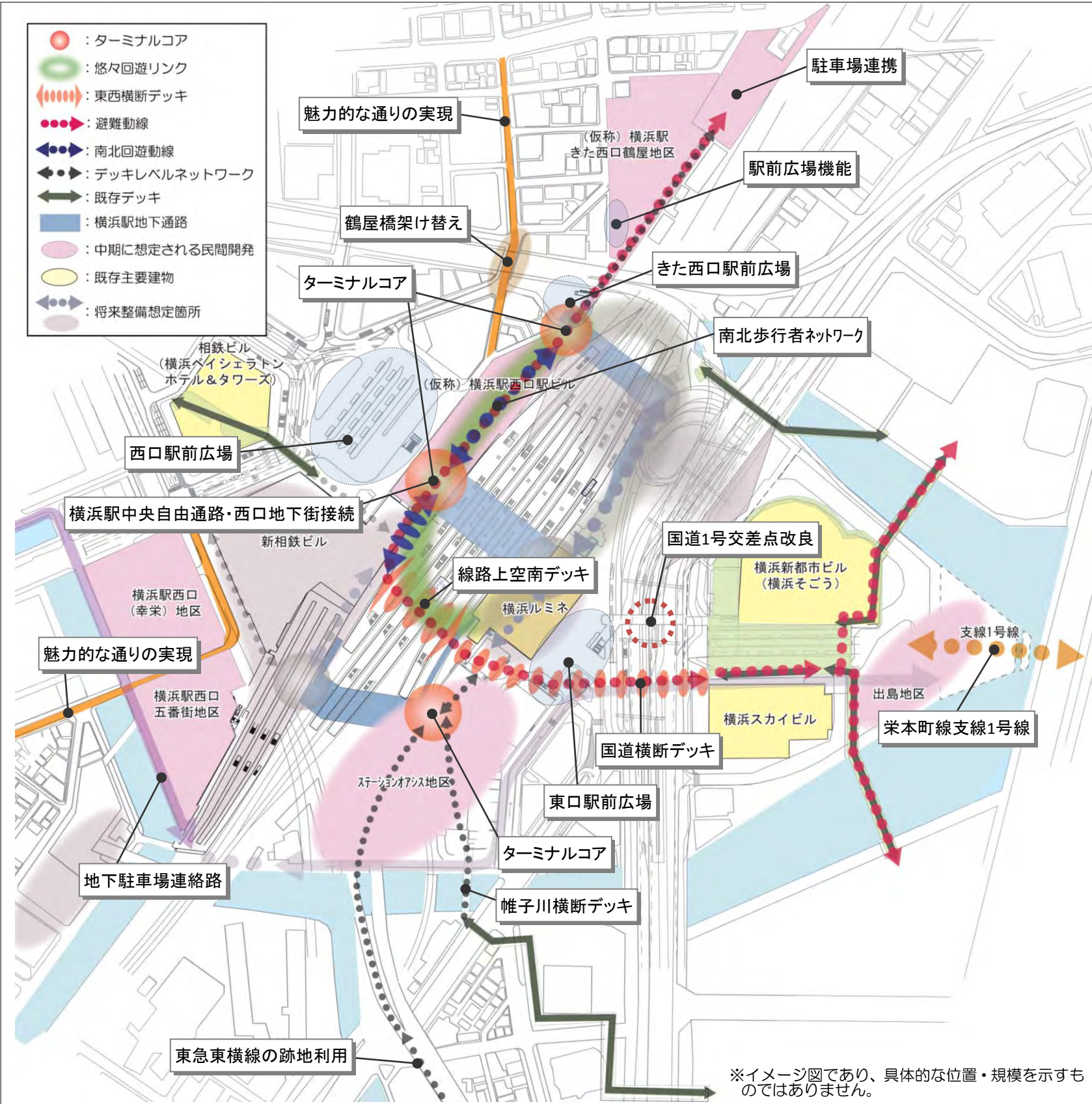
人を中心としたまち

国際交流都市の玄関口となる横浜駅周辺部に目的をもって来街し、快適に回遊でき、非常時には避難できる歩行者ネットワークの構築及び都心臨海部の連携強化を図る

環境にやさしいまち

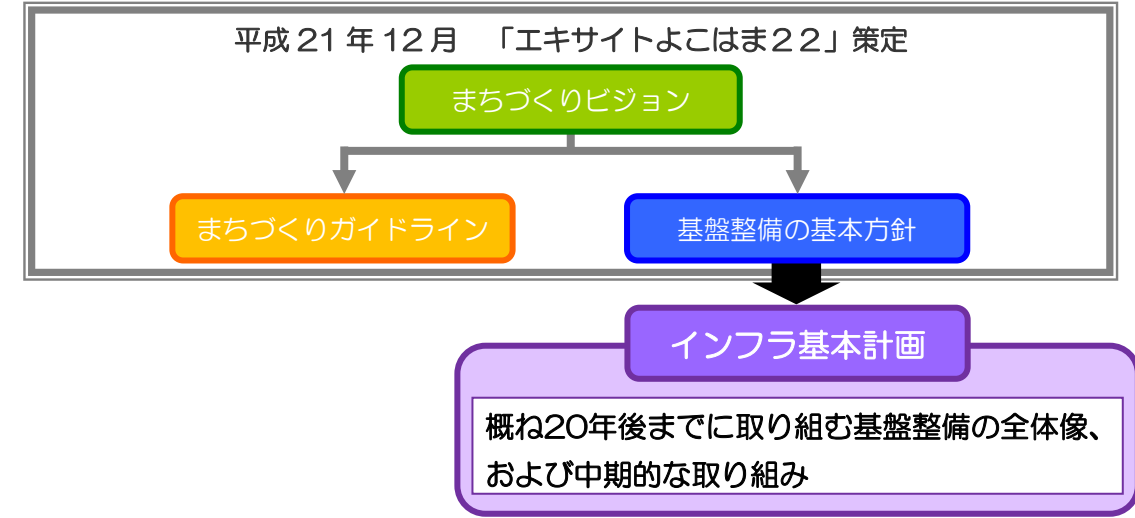
環境における先進的なモデル都市として、環境負荷の低減を図る

■施策全体イメージ



※イメージ図であり、具体的な位置・規模を示すものではありません。

インフラ基本計画の位置づけ



災害に強いまち	人を中心としたまち	環境に優しいまち	中期的に取り組む施策
●			計画的な地盤面高上げ (低い地盤エリアの橋梁・道路の高上げ)
●			帷子川河口部の拡幅
●	●		鶴屋橋架け替え
●			下水道整備
●			下水道整備 (民間敷地内貯留施設整備)
●			情報伝達施設等の防災インフラ整備 (駅周辺と沢渡公園・岡野公園)
●	●	●	悠々回遊リンクの一部 (線路上空南デッキ)
●	●	●	悠々回遊リンクの一部 (南北歩行者ネットワーク)
●	●	●	国道横断デッキ
●	●	●	ターミナルコア
	●		中央自由通路と西口地下街の接続 (馬の背解消)
	●		既存の歩行者通路との接続
●	●		帷子川横断デッキ
	●	●	駅前広場の再編・機能強化 (西口、きた西口)
●	●	●	東急東横線の跡地利用
●	●	●	栄本町線支線1号線
		●	駅前広場の機能強化 (東口、鶴屋地区)
		●	交差点改良 (国道1号、岡野、浅間下等)
	●	●	集約駐車場・駐車場連携 (集約駐車場 (共同荷捌き含む))
	●	●	集約駐車場・駐車場連携 (地下駐車場連絡路)
	●	●	集約駐車場・駐車場連携 (駐車場連携)
		●	エネルギーの面的利用の促進
	●	●	低環境負荷車両等の導入 (UDタクシー・EVタクシー導入)
	●		公共交通利用促進 (案内サインの充実)
		●	総合的なヒートアイランド対策 (緑化、環境に配慮した舗装材の導入、再生水の利用等)
		●	総合的なヒートアイランド対策 (中水の利用等)

●青字：主に行政が取り組む項目

●赤字：行政・開発事業者が連携、共同して取り組む項目

●橙字：主に民間が取り組む項目

●緑字：行政・開発事業者・鉄道事業者が連携、共同して取り組む項目